



御園中だより
教育目標「心豊かで　たくましく　今日を生きぬく　御園中生徒の育成」

清

流

令和4年度
第15号

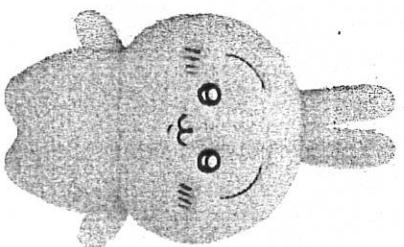
伊勢市立御園中学校
文責 校長 西川泰正

明日から冬休みに入ります

24日（土）から冬休みとなり、新年は1月6日（金）より授業開始となります。今年度は、一昨年や昨年のような臨時休業がありませんが、今週も学級閉鎖があり、日々の学校生活の中には、まだまだ新型コロナウイルスの影響が色濃く出ているように思います。これからもコロナウイルス感染症を意識した生活は、しばらくは続していくことと思われます。寒くなってきて、コロナウイルス感染症の陽性者や濃厚接触者も増えてきています。引き続き感染症対策にご協力をお願いします。

さて、まもなく新年を迎えるます。来年の干支は、「うさぎ」。飛躍の年になるといいですね。新年を迎えるにあたっては、この1年を振り返って新たな目標を立てて前向きに取り組んでいくとよいのではないかでしょうか。中学生のこの時期は、将来に向かっての準備の時期でもあります。「どのような大人になりたいか」「どのような職業につきたいか」などめざすところが異なれば準備の仕方も変わってくるでしょう。それぞれに大人になって自分が活躍する姿を思い浮かべながら、今の自分には何が必要かを考えていくといいのではないかと思います。

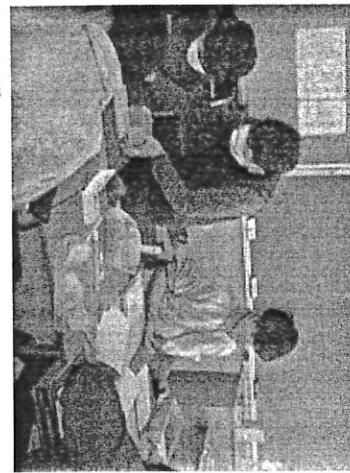
ところで高校に合格し、入学することがまるでゴールのように考えている人がいたらそれは間違えです。社会に出て自分自身の力で生活していくところがスタートラインだと考えるのが良いのではありませんかと私は思います。中学校や高校、大学は、それに向けての準備だと言えるでしょう。大学まで行ってたっぷり準備をしてスタートを切る人もいれば、中学を出てすぐ働き、わずかの準備でスタートを切る人もいるでしょう。皆さんは、まだまだスタートを切る前の準備をしている段階です。中学生で勉強が苦手だと「もうだめだ。」なんて考えてしまう人がいるかもしれません、まだまだスタートすら切っていないのですから大丈夫です。自分に合った将来への準備の仕方もあると思います。将来につながるどのような準備ができるかが大切だと思います。将棋で活躍している藤井聰太さんは、名古屋大学教育学部付属高校をあと2か月で卒業というところで中退しました。この高校は、いわゆるエリートと呼ばれる優秀な生徒が多く通う高校だそうです。でもあとわずかで卒業といふのにやめてしまったのです。将棋の大会が忙しかったからといわれていますが、きっと棋士として生活していくめどが立ち、高校卒業の肩書は必要がないと判断したのだと思います。つまり、もう準備の必要がないと思えたのでしょう。「来年は、飛躍の年に」と言いましたが、どの方向に飛躍するかを決めるのが目標（夢）です。まず自分の目標（夢）をもつて進んでいいってください。



12月の行事から

2年生技能土体験

12月15日



からくり屏風

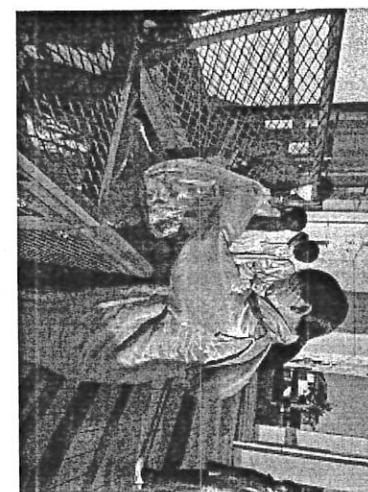
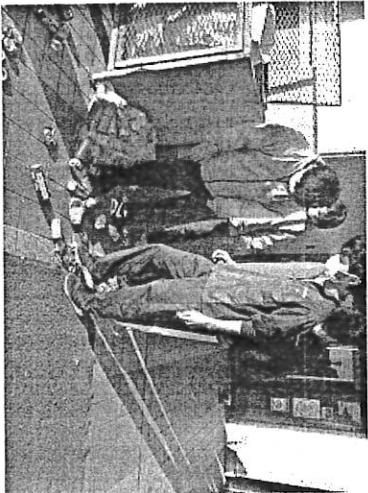
フランアレンジメント



イタリア磨き写真立て
ミニ衝立

アルミ缶回収

12月15、16日



12月12日(月)～14日(水)の保護者懇談会、作品展示には、寒い中ご来校いただき、ありがとうございました。